

科目名	介護福祉実習Ⅰ－２					単位	3.0
担当教員	木野 美恵子・村上 逸人・大前 若子・下山 久之・林 三代志						
授業形態	実技・実習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	7402

●授業のテーマ

介護の対象から個別ケアを重んじる介護福祉士の役割を理解する

●到達目標

個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。

●学習内容(授業概要)

介護福祉実習Ⅰは、利用者の生活の場と利用者の24時間の生活を知る体験型実習である。なかでも、介護福祉実習Ⅰ－２は、総時間 135時間で、1－2 a 1－2 b 1－2 c種類がある。認知症対応型生活介護（グループホーム）・訪問介護員（ホームヘルパー）との同行訪問による訪問介護・通所介護（デイサービス）が主であり、最終には宿泊実習もある。

利用者の自立支援の観点から、多職種協働サービスを理解すると共に利用者の全人格的理解と福祉サービスの全体像を把握でき、適切な援助ができる能力を身につける。

多様な介護サービスを理解する。実際の介護サービス提供現場における基本的スキル（利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーション）を用いてマナーある実習態度や利用者とのコミュニケーションをとる。介護過程に備えて利用者の生活を理解した情報収集ができ、課題・ニーズの把握を考えることができることを目標とする。

●学習内容(授業計画)

1. 学内で学んだ介護技術を手がかりに実習施設で実践する。
2. 利用者ニーズと福祉サービスの役割を理解する。
3. 介護技術の安全と利用者への安心を得る介護技術を理解する。
4. 暮らしの場の快適性や安全性を理解する。
5. 利用者との人間的ふれあいを学ぶ。
6. 記録を通じてスーパービジョンの受け方を学ぶ。
7. 介護過程の基礎を理解する。

●準備学習・事後学習の内容

事前に実習先の事業概要等を整理すること。実習後は実習指導者の助言や実習での学びを実習日誌等にまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

実習計画 30% 実習報告 40% 平常点 30%

●テキスト（必携）

指定はしない

●参考文献／その他
指定はしない

●履修上の注意
特になし。